



週報

2015～2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1070 回(1 月 26 日)例会の記録

例会変更 企業訪問・石坂産業(株)

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	25名	65.63%	66.67%

会長の時間

江原会長

お早うございます。今日は職業奉仕委員長佐々木さんのお取り計らいで石坂産業(株)の企業訪問をさせていただきます。これから会員皆様と構内を見学致しますが、ご案内して頂く係りの方のご説明を聞きながら、またご指示に従って気を付けて参りたいと思いますので宜しくお願い致します。

幹事報告

小島幹事

本日は、企業訪問で緊急に報告する要項が特にありませんでしたので次週に致します。

委員会報告

企業訪問を終えて

佐々木職業奉仕委員長

1月26日に行われた石坂産業(株)への企業訪問に、多数の会員の方に参加いただき、有難うございました。

私自身、石坂産業(株)様の産業廃棄物処理事業をとおして、「自然との共存」、「地域の方々への配慮」等、多くのことを学ばせていただきました。「捨てればゴミ、分別すれば資源」という言葉があるとおり、分別の大切さも学ばせていただきました。

今回の企業訪問を実行するにあたり至らぬ点が多々あったかと思いますが、皆様のご協力により無事終了されたことに感謝いたします。



■ 石坂産業くぬぎの森環境事務局長 熊谷様



本日はようこそ三富今昔村へ、初めに江戸・元禄時代から三世紀を超えて伝えられてきた自然と文化をそのままに伝える今昔村についてご説明させて頂き、その後構内を見学頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

3月にはクラブツーリズムの旅行で「**予約が取れない工場見学ツアー**」ということで参ります。

予定の中には地元野菜を使ったバーニャカウダーとパン焼き大会があり、そのパンをご提供し、地元野菜のお土産付きということでトライしております。

年間1万人ベースでお出でいただいておりますが、営業顧客を除いて一般のお客様だけで3万人位を少なくとももっていきたくと考えております

産廃工場ですから、持って帰っていただくというものはございませんので、社長が考え、環境について考えて頂くという事そういう気持ちをもって帰っていただくのはどうだろうか。と言う事で環境教育を進めるメッカにしたいと考えております。

今日はロータリーの皆様にご一日今昔村の村民になって頂きます、入門証を掛け帽子を被っていただきます。館内の見学は基本ヘルメットですが、ここではヘルメットに代わり帽子になります、何かあったときにはワンクッションにもなります。それと館内では色別表示になり従業員にはゲストと言う事で分かるようになっております。

また、地震等に遭遇した場合にはアテンドが二人ついておりますのでその場合は支持に従っていただきたいと思います。環境に対する取り組みとして地域に一切埃を出さない構造にと言う事で全部建屋の中に入れてみました。建屋の中は集塵機をつけて管理しておりますので見学通路には粉塵は入

ってこないような設備になっておりゲストの方はマスク等も必要なくガラス越しになっておりますので安心してご見学下さい。

皆様方のお住まいになっていた家をご自身で壊しますと一般粗大ゴミになります、業者にしてもらおうと産業廃棄物になります。それらをリサイクルしているのが私共の会社です。

私共の会社は壊された家のリサイクルをしておりますが、全国ではリサイクル業が19,000社、埋め立て処分業2,000社、収集一般業20万社です。私共の会社は壊された家のリサイクルをしておりますのが中間処理業の私共の仕事で減量化です、物を小さくする事で埋め立てる物が少なくなり容積を減らす仕事です。その中から使える物を取り出し資源化の事業を行っております、資源化率は97%、平均で95%になります。壊された家が資材として未来に返すことが仕事です。

ゴミの分別はイコール分けるということです。子供達には学校で5Rを教えています。

「リフューズ・断る」、「リデュース・減らす」、「リユース・再利用する」、「リフューア・壊れたものをもう一回直す」、「リサイクル・資源を再利用する」

リサイクル業のキャッチフレーズは混ぜればゴミ、分ければ資源(分別)です。

木(柱等)の良い物は段ボールのチップとして製紙会社に、また、ビールケースを作る時のチップとなり、建材ボード材のチップとしています。合板材は燃料のチップとなり100%リサイクルします。

産廃と言いますと産廃業者では例えば家屋を取り壊した時に出る色々な物はここでそれぞれの物に分けられます。皆様が歩く外側の通路には瓦屋根の瓦を細かくして煉瓦状態にしたものを敷いています、水はけも良いし環境にも優しいです。

家畜を飼っている業者は農家の方が外に出すと産廃になりますか家畜のベッド、家畜の敷物などおがくずは水を吸いますので当社はそう言った物も作り出します、100%リサイクルになります。

家屋を解体した時の残砂、土砂等が混合した物を手選別と機械選別ですが当社ではトウミのようなもので風を送り軽いものは前へ重い物は手前にと粒子を整えてそこから資源などを取り出しています、水を使わないで分けるその技術は当社だけ

です。土砂混合物そこから取り出した土を丸めそこから砂をつくり砂 0.075~20 ミリ位の粒に加工して山砂の代替品として商品化し流通します。

昨年、それは当社が日本で初めてでありそれを公共事業で使っても問題がないという認定が出ました。

埋めないという事と山砂の開発であり産業に対して優しいことです。都心にあった物がUターンして施設に返すという仕事です。当社ではこのようなビジネスをしております。



■スケジュール

- アテンド (引率者) 橘様 高見沢様
- 11:30~12:00 オリエンテーション
 - 12:00~12:50 昼食・三富語りべ館
 - 12:50~14:00 プラント施設見学・生物多様性保全・くぬぎの森交流プラザ
 - 14:20~14:40 寄り道の駅 (地域交流ショップ)
 - 14:50~15:00 アンケートの協力 (質疑応答)

見学の終了後は「寄り道の駅・地域交流ショップ」で、ここで採れた野菜や里芋を練りこんだパウンドケーキなどを販売しております是非ご利用ください。



